

楽しさ詰まった“あそび箱”

第19回長崎県子ども舞台芸術祭典

劇団風の子九州による『わくわくDokiDokiなんでも座“あそび箱”』松浦公演（松浦子ども舞台芸術祭典実行委員会主催）が7月26日、文化会館で開催され、会場は大勢の親子連れなどでにぎわいました。

いろいろな箱の中から楽しい遊びやお話が飛び出してくる物語に、好奇心旺盛な子どもたちは、ますます想像力をかきたてられた様子で、思わず身を乗り出したり声を掛けたりしながら間近で見る舞台芸術を楽しみました。



ソフトボールで親ぼく

労政協ソフトボール大会

第27回労政協親善ソフトボール大会（松浦市商工業労政推進協議会主催）が7月23日から31日にかけてニッチツグラウンドで開催されました。

同大会は勤労者相互の親睦と体力向上を目的に毎年開催されています。

選手たちは会社の同僚や家族、チームメイトからたくさんの声援を受け、元気いっぱいプレーしました。

上位の結果は次の通りです。

【優勝】松浦衛生事業協同組合

【準優勝】中興化成工業(株) SC部

【3位】SAS住商エアバッグ・システムズ



まちの話題

Matsuura City Topics

伝統を守り続ける

田ノ平浮立

志佐町田ノ平地区で300年以上の伝統を持つ「田ノ平浮立」が7月15日に行われました。この日は雨天のため、田ノ平公民館で奉納されました。

市指定無形文化財でもある伝統行事で、田ノ平浮立保存会の新見正秀会長は、あいさつの中で「江戸時代から続くこの行事が、今後も引き継がれていくことを願う」と述べました。

同保存会の男衆が笛や鉦、太鼓を奏で、女衆があやとりや銭太鼓を手に踊りを披露し、地区住民と一緒に五穀豊穡や無病息災を祈願しました。



31文字に思いを込めて

第24回西海短歌祭

第24回西海短歌祭が7月20日、生涯学習センターきらきら21で開催されました。

県内の短歌愛好家らでつくる西海短歌連盟（山口礼子会長）が出詠者同士で学習しながら親睦を深め、地域の文学の発展につなげたいと毎年開催しています。

この日は約30人が参加し、事前に寄せられた短歌55首の作品から互選の部・選者選の部の入選作品が決まりました。

市内からの入選者は次の通りです（敬称略）。

【互選の部】秀作 平戸市文化協会賞 百枝 悦子



松浦の美味しい果物いかがですか

松浦メロンまつり（ながさき西海農協松浦地区メロン部会主催）が8月3日、道の駅松浦海のふるさと館で開催されました。

この日は、4～5個入りの大箱に換算して約300箱分のアールスメロンが準備され、甘い香りが漂う会場内は、松浦特産のアールスメロンを家族や親戚、友人などへ届けようとする買い物客でにぎわいました。



松浦メロンまつり・御厨ぶどう祭り

御厨ぶどう祭り（ながさき西海農協松浦地区御厨ぶどう部会主催）が8月9日と10日の両日、道の駅松浦海のふるさと館で開催され、「巨峰」や「安芸クイーン」、「シャインマスカット」の販売が行われました。

2日間で1,300箱（1箱4パック入り）が準備され、会場内は次々と訪れたお客さんが、お目当てのぶどうを買い求めていました。



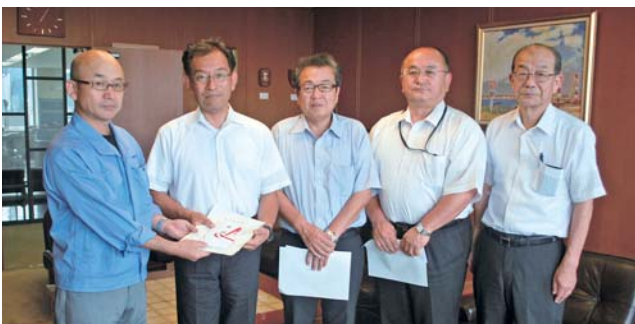
健やかな子どもたちの成長を応援

近江鍛工が地域の小中学校に寄付

近江鍛工株式会社（坂口康一社長）が8月11日、御厨中学校区の小中学校3校に寄付を行いました。

同社では、平成17年度から市内における青少年の健全育成を目的とした活動に取り組んでおり、開始から3年間は市立図書館などへ図書購入費を寄付。平成20年度からは、同社長崎工場が所在する地域への社会貢献として、地域内の小中学校へ寄付を行っています。

市役所を訪れた長崎工場の太田副工場長は、「子どもたちのための図書や運動用具の購入に活用してください」と話し、各小中学校の校長へ寄付を手渡しました。



献血で地域に貢献

厚生労働大臣表彰

7月26日に開催された長崎県献血推進大会で、電源開発株式会社松浦火力発電所（小林尚人所長）が献血運動推進協力団体として厚生労働大臣表彰を受賞し、8月7日に市役所で受賞の報告をしました。

同社では毎年1月、5月、10月に献血を実施しており、平成23年5月から平成26年1月までの約3年間で延べ385人が献血しています。

小林所長は「今後も献血を定期的に行い、地域へ貢献したい」と話しました。

